

2019年1月15日

株式会社ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス

音色を聴き分け タッチをコントロールする！ 誰もが知りたかった奏法の秘密

# 「響き」に革命を起こすロシアピアノニズム

～色彩あふれる演奏を目指して～

2019年1月25日発売！

Shinji Ono  
大野真嗣

「響き」に革命を起こす

ロシア  
ピアノ  
ニズム

誰もが知りたかった  
奏法の秘密

色彩あふれる  
演奏を目指して

音色を聴き分け  
タッチをコントロールする！

現在世界中で、ロシアピアノニズムの流れを汲んだピアニストが活躍している。  
ではロシアピアノニズムとはいったい何なのか？ その特徴は？ 奏法は？  
約30年にわたりロシアピアノニズムを研究してきた著者によるロシアピアノニズム入門。

yamaha music media

現在、シヨパン国際ピアノコンクールをはじめ、世界中のピアノコンクールでロシアピアノイズムの流れを汲んだピアニストが活躍している。

なぜロシアの伝統的奏法が世界を席卷しているのか？

そもそも、ロシアピアノイズムとはいったい何なのか？ その特徴は？ 奏法は？

本書では、約 30 年にわたりロシアピアノイズムを研究してきた著者が、ロシアピアノイズムの基本的な紹介はもちろん、表現力のある演奏をするために必要な考え方、音の聴き方、身体の使い方などまで解説。

また、ロシアピアノイズムと聞いて思い浮かぶ「重力奏法」の誤解についても言及している。

ロシアピアノイズムに興味のある音楽愛好者から、表現力のある演奏を目指すピアノ学習者、指導者まで——、これまで謎に包まれていた実態を明快に解きほぐすロシアピアノイズム入門。

大人気ブログ「大野真嗣 ロシアピアノイズムをつぶやく」に大幅に加筆、修正をしたピアニストに衝撃を与える一冊！

## 【目次】

### ■第1章 響きの正体

- 1 現代のコンクールとピアニスト事情
- 2 現在、主流となっている奏法
- 3 倍音が豊かな音楽となる
- 4 響きを作るロシアピアノイズム
- 5 私とロシアピアノイズムとの出会い
- 6 ロシアピアノイズムは、演奏を自由にする

### ■第2章 ロシアピアノイズムとは何か

- 1 ロシアの曲を弾くからロシアピアノイズム？
- 2 ロシアピアノイズムとロシア奏法
- 3 耳の使い方
- 4 ロシアピアノイズムの発声
- 5 音色の特徴
- 6 演奏時の感覚
- 7 どのような音楽に適するか？
- 8 演奏がどう変わるのか？
- 9 現代のロシアピアノイズムの特徴

### ■第3章 ロシアピアノイズムの奏法と技術

- 1 重心と椅子の高さ
- 2 身体の使い方
- 3 タッチの基本
- 4 タッチの実践
- 5 重力奏法とは？
- 6 下部雑音はないほうが良い
- 7 音の離し方
- 8 発想の転換をする
- 9 p(ピアノ)とf(フォルテ)
- 10 クレッシェンドとデクレッシェンド
- 11 記号の本当の意味
- 12 リズムとテンポ
- 13 ルバート
- 14 和声
- 15 ペダルについて
- 16 シヨパンを弾く
- 17 バッハを弾く
- 18 ベートーヴェンを弾く
- 19 モーツァルトを弾く
- 20 チャイコフスキーを弾く
- 21 作曲家の個性を理解すること

### ■第4章 理想の音楽教育を目指して

- 1 「表現する教育」の必要性
- 2 日本の現状
- 3 世界の現状
- 4 理想の教師とは
- 5 留学について

### ■第5章 ロシアピアノイズムの代表的ピアニスト

- 1 ゲンリッヒ・ネイガウス
- 2 タチアナ・ニコラーエフ
- 3 ディーナ・ヨツフェ
- 4 エリソ・ヴィルサラゼ
- 5 グレゴリー・ソコロフ
- 6 ウラディミール・ホロヴィッツ
- 7 マルタ・アルゲリッチ
- 8 イーヴォ・ポゴレリチ
- 9 ミハイル・プレトニョフ
- 10 イリヤ・ラシュコフスキー
- 11 マキシム・モギレフスキー

### ■第6章 芸術をつくるということ

- 1 何を追い求めるか？
- 2 自由になるために
- 3 芸術とはコミュニケーションである
- 4 日本人にしかできない演奏を
- 5 ピアニストの心構え
- 6 成長のために
- 7 人に受け継ぐこと

## 【著者】大野眞嗣（おおの・しんじ）

1965 年東京生まれ。

桐朋学園大学及びモーツァルトウム音楽院（オーストリア）にて学ぶ。

桐朋学園大学在学中、第 33 回マリア・カナルス国際音楽コンクール・ピアノ部門にて特別メダル受賞。

これまでに上杉真弓、佐野川延子、田辺縁、中島和彦、広瀬康、アルフォンス・コンタルスキーの各氏に師事。

ヨーロッパ在住中、ドミトリー・バシキーロフ、タチアナ・ニコラーエワ両氏との出会いからロシアピアノニズムに目覚め、

現在に至るまで研究を続け、昨今ではモスクワ音楽院教授を始め、多くのロシア人一流アーティスト（パーヴェル・ネルセシアン、アンナ・マリコヴァ、マキシム・モギレフスキー各氏など）と交流を深め、とりわけ、ディーナ・ヨッフエ氏との出会いにより、ロシアピアノニズム、中でも「ネイガウス流派」のピアノニズムに傾倒する。

また、フランス、スペイン、イタリア、アメリカの講習会に、講師として招待される。

帰国後、約 30 年間のロシアピアノニズムの奏法の研究、教育活動において、国際、国内コンクールにて多くの受賞者を輩出、また、その中から既にヤマハ・マスタークラス、桐朋学園大学、東京藝術大学、洗足学園音楽大学、常葉大学短期大学部、国立音楽大学にて教職に就いている。

自身のブログ「大野眞嗣 ロシアピアノニズムをつぶやく」は、多くの読者の支持を得ており、日本においてのロシアピアノニズムの奏法を広めるべく執筆活動を続けている。

現在、恩師でもあり友人でもあるディーナ・ヨッフエ氏監修のもと、「大野ピアノメソッド」代表を務める。

## 「響き」に革命を起こすロシアピアノニズム～色彩あふれる演奏を目指して～

定価：2,000 円（本体価格）＋税

仕様：A5 判縦／232 ページ

ISBN：978-4-636-95937-6

商品コード：GTB01095937

<https://www.ymm.co.jp/p/detail.php?code=GTB01095937>

お求めは、全国ヤマハ特約楽器店・書店または弊社オンラインショップ < <https://www.ymm.co.jp> > まで。

## 【本商品に関するお問い合わせ】

(株)ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス 出版部

TEL：03-6894-0250 <https://www.ymm.co.jp>